

答 農林水産課長（大城哲夫） 農地利用の集積や経営改善の取組みを農業委員会は手伝し、農業者年金等の加入や農業経営の達成のアドバイス等。

農業振興につながる部分もあ
り連携をとりたい。地域保全の会と連携して地域づくり活動できないか。

答 村長（志喜屋文康） 地域保全の会と連携して地域づくり活動できないか。

吉山盛次郎 議員 教育施策について

指摘、指導できればやつてい
たい。

村内一中学校、前提に議論する場をもっていきたい。図書館も8月に推進委員会立ち上げをさせたい。可能な限り図書館の設置を考えていきたい。

学校統合、村立図書館の建設

質 吉山盛次郎 教育長（石川哲夫）

村文化財の確認、保護について伺います。

質 吉山盛次郎 教育長（石川哲夫）

開発地域における文化財の保護は業者の届出によって確認、文化財があれば記録保存あるいは永久的に保存すべきものは保存していく。平成20年度から4年、埋蔵文化財の分布調査を入れて、地域の文化財が明らかになってくる、改めて作業を取り組んでみたい。

質 吉山盛次郎 指道支援カルテの運用状況伺いたい。

質 吉山盛次郎 学級担任で記入保管している。

質 吉山盛次郎 進級するとき次の学年担任に引き継がれ指導会議とかで利用している。

質 吉山盛次郎 指道支援カルテの運用状況伺いたい。



南恩納区で実施された草刈作業

納村がより明るい村に発展するだろうと思っております。一年に一回は村民こぞってスポーツに親しむ日を制定できれば一層

スポーツクラブを立ち上げることにより、色々な形で情報の共有が出来、また指導者の育成が

議会だより 第101号

の効果が上がるのでは、という想いを持っております。

村条例については抵触しております。よって運用は今休止と

あります。よって運用は今休止と

あります。そのあたり必要でないかと今考えております。

競技のレベルも上がってきます。個人個人が競技、スポーツに親しみ自分の健康の維持管理も含めて、これがひいては高いレベルの競技に結びつきます。そのため、あたり徐々に取り組んでいきました。

競技レベルの向上は、村民に誇りと夢を与える、やる気を起させれる絶好の機会であり、若い皆さんの力を鼓舞していく

こと、健康面からしてもいい競技のレベルも上がってきます。個人個人が競技、スポーツに親しみ自分の健康の維持管理も含めて、これがひいては高いレベルの競技に結びつきます。そのため、あたり徐々に取り組んでいきました。

競技レベルの向上は、村民に誇りと夢を与える、やる気を起させれる絶好の機会であり、若い皆さんの力を鼓舞していく

こと、健康面からしてもいい競技のレベルも上がってきます。個人個人が競技、スポーツに親しみ自分の健康の維持管理も含めて、これがひいては高いレベルの競技に結びつきます。そのため、あたり徐々に取り組んでいきました。

競技レベルで活躍した青少年を表彰してあげるとか、スポーツ大賞を作つて激励してはどうかと思つております。

スポーツが振興できれば、恩納村がより明るい村に発展する

だろうと思っております。一年に一回は村民こぞってスポーツに親しむ日を制定できれば一層

山城郁夫 議員

山城郁夫 議員

恩納村のスポーツ振興について

村内在住する外国人（米軍人）について

質 吉山盛次郎

いうことが大きな要因であります。

トラブルした場合どのように対応するのか。些細なトラブルに関して外国語の堪能な村職員に苦情処理、対応していただきたい。

被害が住民へ及ぶ恐れがあるトラブルは警察等の連絡で対処している。英語の達者な方が役場にいます。その方と日常的なトラブルを対処して行きたいと考えている。

村民と外国人、米軍人とのトラブルした場合どのように対応するのか。些細なトラブルに関して外国語の堪能な村職員に苦情処理、対応していただきたい。

吉山盛次郎（吉山盛次郎）

新企画

村民の声を聞こう

議会広報委員会は、新企画として「村民の声を聞く」ことを目的に、声をかけた所、商工会青年部役員の皆さんのが快く、取材に応じてくれました。

地域活性化で頑張る商工会青年部は、琉歌の歌人ナビーで地域活性化を図ろうと計画しました。

ちゃん人形です。

などで、活躍していく
す。これからは学校訪
問や交通安全などの慈
善事業などに積極的に
参加していきたい。

るみの補修、クリーニング、商標登録の更新、などの活動維持費の負担が大きいことです。そこでこれからのお開を開いてみました。

買い物袋や観光用の包装紙などに、印刷をし、村外・県外に向けた恩納村ブランドをアピールしていきたい。そして、活動費の捻出にもつなげたい。



ナビーちゃんでは、ありません

ナビーちゃん★プロフィール（推測）

年齡：15歲

身長：118cm 体重：38kg

友達：松金さん・チルーちゃん

趣味：琉歌

これから恩納村
をどうしたいのか、
聞いてみました。

① ホテルなどの開発が村内数箇所で行なわれているが、観光地恩納村を、将来的に見ると、もつと自然を残した開発にするべきではないか。

エイサー太鼓の音が近づいてくる時期、各地でも夏祭りや祈願祭などがあちらこちらで毎週のように行われ夏の暑さと共にそれに負けない住民のパワーを感じています。

今号は庶務委員会の企画で取材したり、担当課から説明を受けたりして記事の作成に取り組みました。企画の甘さから没になつた記事もありましたが、そうした中でも各委員が始めて知り得る事も多々あつたのではないかと思います。

今回は新しく議員の閉会中の活動についての報告や、村民の声を取上げる記事の掲載もできました。取材を受けていただいた商工会青年部の皆さんに感謝いたします。

○ 恩納村の顔ともいえる、万座毛をイベントなども出来る、公園としての整備が出来ないか、
○ 博物館の隣にある内海を有効活用できいか。たとえば、恩納の駅と博

○博物館の隣にある内海を有効活用できなか。たとえば、恩納の駅と博物館を結ぶ海の上の駐車場など。

101
號編集長
長嶺律夫

■ 発行：恩納村議会
住所：沖縄県恩納村

住所：沖縄県国頭郡恩納村字恩納2451番地

■編集：議会広報委員会

電 話 (098) 966-1199

メールアドレス : gikai@vill.onna.okinawa.jp